

熊
本
都
市
圏

盆の上に国立公園 細川流盆石展

細川家初代幽斎(藤孝)と2代三斎(忠興)から伝わる「細川流盆石」展が11日、熊本市中央区古京町の旧細川刑部邸で始まった。盆石は黒漆の盆の上に自然石を置き、白砂を使って美しい風景を表現する日本古来の縮景芸術。県内愛好家で作る「細川流盆石熊本支部」が毎年開いている。19日まで。

今年は阿蘇が世界ジオパークに認定され、国立公園指定80周年でもあるため、阿蘇を含む全国31カ所の国立公園を表現した33点を展示。涅槃像と呼ばれる阿蘇五岳に雲海が浮かぶ大観峰から望む絶景など、雄大な自然を写し取った日本の美の世界が広がっている。

体験コーナーもあり、平嶋孝支部長(62)

は「茶道とともに発展した一期一会の床の間文化を、細川家ゆかりの屋敷で楽しんでほしい」と話している。(浪床敬子)



白砂や石などで日本の美しい自然が描かれた細川流盆石の作品
=熊本市中央区古京町の旧細川刑部邸